



# 福島医大病院ニュースレター

編集・発行/附属病院患者サービス向上委員会

〒960-1295 福島市光が丘1番地 / TEL (024) 547-1111 ホームページ <http://www.fmu.ac.jp/byoin/index.php>



## 患者さん・地域住民のために

福島県立医科大学附属病院院長

棟方 充

平成24年4月より村川雅洋前病院長の後任として、福島県立医科大学附属病院病院長を務めさせて頂くことになりました。福島県立医科大学附属病院は、豊かな知識と確かな医療技術を持ち、患者さんへの温かい眼差しと優しい心を持つ医師の養成を目標としてきました。多くの出身者が、本県地域医療の向上に貢献するだけでなく、幅広い分野で世界中の医療の充実と発展に貢献しています。

不幸にも、福島県は昨年3月11日に、地震・津波・原発事故という、人類史上類の無い、大複合災害に見舞われてしまいました。この災害に際し、福島県立医科大学附属病院は、救急医療と放射線被ばく医療の中核としてハブ的機能を果

たすとともに、全職員の力を結集し、この災害から県民を守る活動を行ってきました。現在は、県の復興計画も発表され、未来へ向けて歩き始める時期となりました。今、我々に必要なのは、自らの力で復興を成し遂げるという「強い意志と誇り」、そして、未来へ向けての「希望」だと思います。

そして、福島県立医大附属病院には、復興へ向けての道を歩き始める福島県民全員の「心と体」を支えるという大きな責務が与えられました。復興の道は決してなだらかで安易なものではありません。これからも長く辛い日々が続くと思います。我々附属病院職員は、今なお辛い生活を送っている方々、そして、この険しい道のりを歩み始めた方々に、寄り添い、支え、手当し、癒し、そして、希望を与えられる医療を行うことで、福島県民を支えて行こうという強く決意しております。今後、福島県民が「世界最高の医療」を享受し、「健康寿命日本一」となることを目標に、更に努力を続けて行きたいと考えております。県民の皆さまの更なるご支援を宜しくお願い申し上げます。



## 「きいてください 院長さん」投書箱から



夜間や休日も正面玄関から出入りできるようにしてほしいというご意見をいただいております。

当院では、平日の昼間（午前6時～午後6時30分）以外は、病院西側の守衛室前入口から出入りしていただい

ております。

出入口を1カ所に集約することにより、病院内への不審者の侵入や盗難等のトラブルを未然に防ぐことができるようになります。

患者さん、お見舞いの皆様の安全を最優先に考えた対応でありますので、どうかご理解いただきますようよろしくお願いいたします。



第18号のなかみ

- 2ページ……○薬剤部のご紹介  
○検査部のご紹介  
○医科大学病院ボランティア「けやきの会」発足14年
- 3ページ……○神経内科：こんな患者さんを診ています  
○看護の日
- 4ページ……○節電を乗り切ろう！～熱中症予防の体作り～  
○病院外来駐車場の利用方法が変わります

### 病衣・付添寝具

清潔と快適をクリエイトする。

# DOJINSHA

【ご利用・お問合わせ先】

株式会社 同仁社  
医大リネン室

電話 024-547-1111  
内線 3081

マチのほっとステーション

# LAWSON

ローソン福島県立医科大学附属病院店（エレベーターホール隣）  
ローソン福島県立医科大学店（7号館内）

## 薬剤部のご紹介



部長  
白坂 正良

こんにちは 薬剤部です。  
病気の治療に欠かすことのできない「薬」、その薬を患者さんに最も安全でかつ効果的な方法で提供するために、薬剤部では薬の専門家である薬剤師が、薬に関するあらゆる業務を365日24時間体制で行っています。

薬の調剤や管理だけでなく、全病棟に薬剤師を配置し、入院患者さんに対する薬剤管理指導を通して薬の適正使用やリスクマネジメントへの貢献、医薬品情報の収集と提供および医療スタッフ間での共有を推進しています。さらに、さじ加減の難しい薬の血中濃度解析と安全で効果的な薬物療法の検討、治療上必要になる市販されていない特殊な薬の製造・供給等も行っています。また平成21年1月にリニューアルオープンした「外来化学療法センター」では、近年高度化するがん治療の進歩に伴い、患者さんが安全かつ安心して薬物療法をうけることのできる環境が整備されています。センター内にはミキシングルームが設置され、薬剤師が適切な環境下で注射用抗がん剤を無菌的に混合・調製しています。

チーム医療の一員として薬学的視点に立ち、薬の有効性・安全性の確保を実践し、より良い薬物療法を提供できるように心がけています。

残念ながら現在人員の問題により、すべての業務を充実させることは困難な状況ですが、これからも患者さんの治療およびQOL（生活の質）の向上に貢献できるよう、活動を行って参りますのでよろしくお願いいたします。

## 検査部のご紹介

検査部は、大きく二つの部門に分かれています。  
一つは血液、尿、便、喀痰等採取された検体について多種類の項目を測定する検体検査部門です。夜間、休日等の時間外も対応しています。以下に主な内容をお示しします。

- 1.一般検査室：尿、便、穿刺液（胸水、腹水、髄液、関節液等）などについてその性状、生化学的な検査、形態検査などを行います。糖尿病や、腎臓・膀胱の異常の有無などを知ることが出来ます。
- 2.血液検査室：採取された血液を用い血球算定、血液像の検査、凝固検査等を行い貧血、白血病などの血液疾患に関するデータを提供します。
- 3.生化・免疫検査室：血液や尿などのさまざまな成分（蛋白質、脂質、糖質、酵素等）を分析し、体（肝臓、腎臓、心臓、膵臓など）に異常がないか、どの部分の疾患なのか、また炎症があるのかどうか、免疫機能に関すること等を調べます。
- 4.微生物検査室：感染症を引き起こす原因菌が何であるのか探るために、細菌や真菌の検査を行います。また、薬剤感受性試験を行い、どのような薬剤が有効なのかを調べます。

もう一つは、直接患者さまを対象とした生理機能検査部門です。心電図、ホルター心電図をはじめとする循環機能検査、肺活量に代表される呼吸機能検査、脳波検査、耳の聞こえを調べる聴力検査、超音波を用いて体の内部を観察する無害で無侵襲な超音波検査などを行っています。

さらに、診療支援体制として中央採血室が検査部内に設置されています。看護師と技師が外来患者さんの採血業務を行っています。

検査担当スタッフは、全員臨床検査技師の国家資格をもち、各分野の認定検査技師免許を同時取得している者もいます。迅速に正確なデータの提供に努め、学会、講習会へ積極的に参加し技術の向上を図っています。また、患者さんには、誠実で思いやりのある対応をめざし、院内の他部門との連携も図り、栄養管理チーム(NST)、感染制御チーム(ICT)へも協力体制をとっています。医療事故の防止、検査の向上をめざし患者さんのお役にたてるよう進んでまいります。

## 医科大学病院ボランティア「けやきの会」発足14年

会長 本多 信治

医科大学病院ボランティア「けやきの会」も発足14年目にして、福島県社会福祉協議会より団体・個人の表彰を受けました。目立った活動ではありませんが、長い間の努力が認められ会員一同喜んでおります。

どこのボランティアも同じだと思いますが、私たちは、お世話になりました皆様に「何かをしたい」と集まった仲間、患者さんから「ありがとう、皆さんがいると安心する」との言葉に喜びを感じています。

私たちは、気づいた全てのことにお手伝いするのではなく、自立支援と患者さん自身のリハビリのために過剰なお手伝いはしないように心がけています。時には「冷たい」と思われるかもしれませんが、私たちは患者さんの一生懸命な姿を見て「リハビリを頑張っているな」と思い「車椅子をお持ちしますか」の言葉をかけることをためらうこともあります。し

かし、私たちが勘違いしている場合もあるかと思しますので、お手伝いが必要な時には遠慮なく声をかけていただきたいと思います。

日本ではまだボランティア活動についての認識は薄いと思われるので、小学生の頃から社会教育として取り入れ、地域でのゴミ拾いなどの活動に参加して、助け合う喜びを身につけていただけたらと思います。ボランティア活動の中で患者さんから伺った話では、ボランティア活動を行った児童・生徒は心優しく育っている場合が多いそうです。

震災では、ボランティアの方が遠方より瓦礫の撤去などに参加し、被災された皆さんに感謝されています。私はまだまだ未熟で患者さんに教えられることが多く、反省する毎日ですが、引き続き院内でのボランティア活動を行ってまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。



神経内科というと、精神科、脳外科と間違えられる事があり、まだ診療内容が皆様にわかっていただけない面があります。そこで、どういう病気を診ている診療科かを紹介します。

神経内科を一言で言うと、脳・脊髄・末梢神経・筋肉にいたる、いわゆる神経系に関する病気すべてを診ている科です。神経には、運動神経と言って人間が考えたり、動いたり、感じたりする時に働いている神経と、植物神経（自律神経）と言って、心臓や呼吸のコントロールをしている神経があり、これらすべてを診ています。従って、症状としては動かない・動けない・おかしな動きをする・感じない・しびれる・意識がおかしい・忘れっぽい・ぼけてきた・めまいがする・頭が痛いなど様々な症状が出現します。中でも、頻度の多い病気としては、頭痛・めまい・脳卒中・てんかん・脳炎・パーキンソン病・アルツハイマー病・糖尿病性神経炎などがあります。この他、多くの難病もあり、多発性硬化症、脊髄小脳変性症、運動ニューロン疾患、筋炎、筋ジストロフィー症、ギラン・バレー症候群、末梢神経炎などがあります。

神経系の病気のため、診察で病変の部位を推察するとともに、MRI、血液検査、脳波などを用いて病名を診断して、治療に至ると言う順序になります。この中で、診察がしめる要素が大きく、専門的な訓練を充分受けている医師の診察が必須となります。

このように病気を羅列しても、やっぱりわからないと言う事になってしまうかと思えます。では、どのような時に神経内科を受診すればよいかと言うと、上述した症状のどれかがあったら一度受診いただくか、症状があった時に近くのお医者様を受診し、そこで神経内科の受診が必要となったら、ご紹介いただくのがよいと考えます。敷居が高いと思わずに、症状があったら気軽に受診してください。



## 看護の日

看護部 尾形 瑞子

5月12日はフローレンスナイチンゲールの生誕の日です。その日に合わせ日本看護協会では、看護週間とし様々なイベントを行っています。イベントでは看護師の仕事、また健康相談など、患者様にいちばん身近に寄り添っている看護師の看護の様子を紹介しています。また将来看護師の資格を取得するための進学相談についても実施されています。

当院看護部でも毎年5月12日の前後に「看護の日」と言うことで、健康相談や血圧測定、体脂肪測定などを行いました。

今年は5月9日(水)から5月12日(金)の3日間写真展を行いました。普段病院で働いている看護師の仕事を紹介し、看護に関心をもってもらうことを目的に実施しました。日中だけでなく、夜勤を通して24時間どのように看護ケアを実践しているかを患者さんとのふれあいなどを通して紹介させて頂きました。

今回写真を見て頂いた患者さん、ご家族からたくさんの応援メッセージを頂きました。これらの温かいメッセージから元気を頂き、これからは患者さんの体はもとより、心も支えることができる看護師でありたいと思っております。



## ○節電を乗り切ろう！

## ～熱中症予防の体作り～

医事課栄養管理係 飛松 聡

桜の季節が過ぎ、暑い日が続く季節に差し掛かろうとしています。今年も節電の夏になりますが、その際、熱中症に気を付けなければなりません。昨年、熱中症で救急搬送された方は、総務省消防庁の調べによると4,500人以上でした。今回は、今からできる予防として、熱中症になりにくい体を作ることについてお話します。

昨年5月、日本生気象学会より「節電下の熱中症予防のための緊急提言」が発表されています。発表では、熱中症になりにくい体作りは、血流量を増やすことだとされています。体内の血流量を増やすことで熱を外に出し、体温調節を行うことができます。その結果、体の中に熱がこもることが原因で起こる熱中症を防止できるということです。

血流量は「やや暑い環境」で「ややきつい」と感じる運動を1日30分間、1～8



週間実施することで増加します。さらに、運動直後に糖質とタンパク質を豊富に含んだ食品を摂ることで、より効率的に高い効果が得られると云われています。

糖質とタンパク質を豊富に含む食品として牛乳がありますが、牛乳が苦手な方のために、豆乳を使った簡単レシピを紹介します。是非、運動したあとに飲んで効率よく血流量を増やし、節電の夏を乗り切りましょう。

### 夏バテ防止ドリンク

- 材料
  - ・豆乳 (200ml)
  - ・きな粉15g (大さじ1)
  - ・はちみつ15g (大さじ1)
- 栄養価
  - エネルギー：237kcal
  - タンパク質：11.7g
  - 糖質：26.1g



- 作り方
  - 材料をすべて混ぜるだけ。
  - お好みに合わせてはちみつやきな粉の量を調節してください。
  - (きな粉はタンパク質が豊富で、はちみつは炭水化物が豊富に含まれています。)

参考：日本生気象学会HP  
<http://www.med.shimane-u.ac.jp/assoc-jpnbiomet/index.html>

## 病院外来駐車場の利用方法が変わります

7月2日(月)から、病院外来駐車場の利用方法が変わり、診察券での利用はできません。

外来駐車場をご利用の方は、駐車券が必要となります。患者さんは、支払窓口にてお会計後、駐車券をお受け取りください。支払いがない方は、料金計算窓口で駐車券をお受け取りください。

お見舞いで外来駐車場をご利用の方は、病院総合案内で面会許可証を返還された際に、駐車券をお受け取りください。なお、17時以降におきましては守衛室でのお受け取りになりますのでご了承願います。

その他のご用件でご来院の方は、守衛室で駐車券を

交付いたしますが、駐車券交付簿に車両番号、名前、用務先等を記入してもらうようになりますのでご協力をお願いします。

また、万一、駐車券を受け取るのを忘れてしまった場合には、出口ゲートのインターホンからお話いただくことで、ゲートを開けることができます。ただし、遠隔操作となるために時間がかかる場合がありますので、あらかじめご了承願います。

病院外来駐車場の混雑を緩和し、患者さんやお見舞いの方等の駐車スペースを確保するための取り組みですので、何卒ご理解とご協力をお願いします。



すべてを地域のために  
**東邦銀行**

ご利用・お問い合わせは **福島医大病院支店**

窓口営業時間：平日午前9時から午後3時

電話 024-548-5331 (受付時間:平日午前9時から午後5時)

## スターバックスコーヒー福島県立医科大学附属病院店

営業時間 平日 7時～20時  
 土日祝 9時～19時

アメリカ シアトル生まれのスペシャルティコーヒーストア。高品質のアラビカ種コーヒー豆から抽出したエスプレッソがベースのバラエティ豊かなエスプレッソドリンクやペストリー、サンドイッチをお楽しみいただけます。

